

第1学年 学級活動（食育）学習指導案

平成29年10月5日（木）5校時

〇〇小学校 第1学年2組 26名

指導者 T1 教諭

T2 栄養教諭

1 題材 いろいろな食べ物を知ろう

活動内容（2）キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材設定の理由

本学級には、食物アレルギーにより除去食を行っている児童が1名いるが、どの児童も給食を楽しみにしている。入学当初に比べると、食べる量も少しずつ増えてきたり、苦手なものに挑戦したりする様子も見られる。1学期末に実施した給食がんばりカードにシールを貼るのを楽しみに、完食しようとする児童も増えてきた。今までの経験から、好き嫌いなく食べた方がよいことも何となく分かっているが、嫌いな物が入っているからと全く食べなかったり、嫌いな物だけを除いて食べたりということも多い。また、食べ物についての知識も個人差が大きい。

そこで、いろいろな食べ物に興味・関心をもたせ、給食でたくさんの食べ物を使っていることに気付かせ、いろいろな食べ物を食べることの大切さを理解させることを通して、望ましい食生活を身に付けさせたいと考え、本題材を設定した。

3 題材の目標

食べ物に興味・関心をもち、いろいろな食べ物を食べようとする意欲をもつことができる。

4 題材の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
食べ物について関心をもっている。	いろいろな食べ物を食べるために、自分のめあてを考えている。	いろいろな食べ物を食べることの大切さを理解している。

5 食育の視点

- ・学校給食には、いろいろな食材が使われていることを知る。〈食品を選択する能力〉
- ・毎日を元気に過ごすために、好き嫌いせず食べようとする意欲をもつ。〈心身の健康〉

6 指導計画

事前 アンケートを実施し、給食に使われている食べ物について関心をもつことができるようにする。

本時 学級活動「いろいろな食べ物を知ろう」

事後 給食がんばりカードを使い、自分のめあてが達成できるようにする。

7 本時の活動

(1) ねらい

食べ物に興味・関心をもち、給食でいろいろな食べ物を使っている理由を知り、
いろいろな食べ物を食べようとする意欲をもつことができる。

(2) 活動計画

学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1 給食にどんな食べ物が使われているか考える。	○今日の給食に使われていた食べ物を思い出させ、学習の意欲を高めさせる。 T1	
いろいろな食べ物を知ろう		
2 食べ物あてっこゲームをする。	○箱に入った食べ物を、手で触って名前を当てるゲームをし、気付いたことを発表させる。 T1 T2	食べ物に関心をもっている。 （行動観察）
3 給食でいろいろな食べ物が使われている理由を考える。	○食べ物の特徴や私たちの体は、自分たちが食べた食べ物の栄養から作られていることを理解させる。 T2	食べ物の特徴や給食でいろいろな食べ物を使っている理由が理解できる。 （行動観察）
4 自分のめあてを考える。	○いろいろな食べ物を食べようとする意欲付けをする。 T1 T2	自分のめあてを考えることができる。 （ワークシート）

(3) 評価および指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	給食でいろいろな食べ物を使っている理由を知り、 いろいろな食べ物を食べようとする意欲をもとうとする。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	給食で使われている食べ物の特徴や働きを視覚的に 分かりやすく示す。

めあて いろいろなたべものをしよう。

～たべもの
あてっこ げえむ～



しめじ

きのこ

・むにむに
・にょい

すばげてい

・ねるねる
・ぐいぐい
・いいにょい

にんじん

・せんがある
・ぼろとしてる
・くろいところがある

とまと

・きみどり
・ももみだい
・ぶいぶに
・ちいさいぽん

びいまん

・つろつろ
・ひんてい

たまねぎ

・ぼろみだい
・たてにせん
・したにもさ



たくさんの
たべものが
つかわれている
わけ

・えいようがある
・はらんす
・かるしうむ

からだ

たべものから
できている

まとめ

いろいろな
たべものの
ことをして
いろいろな
たべものを
たべよう。